

広報クイズ

クイズに答えてステキな商品を当てよう！

舞鶴の特産品やお土産などを抽選でプレゼントします。問題の○に当てはまる文字や数字をお答えください。プレゼントは紙面の中に

問題1 まいづる「お菓子のチケット」
「○○チケ」で地域のお店を応援

問題2 元気なうちから始めよう！
○○○○予防で健康長寿

問題3 W-I-T-H「コロナの夏だけ」
○○症にも気を付けて！

【広報まいづるアンケート】
◆「広報まいづる」の内容の満足度は、次のうちどれですか？
①大変良い ②良い
③不満 ④大変不満

◆「広報まいづる」7月号で面白かった記事は何ですか？

◆「1-9番」を利用したことはありますか？
①利用した ②利用しなかった

【応募方法】

「はがき」(〒625-8555)住所不要舞鶴市役所広報広聴課(〒760-0001)からアクセス可)で①クイズの答え②「広報まいづる」アンケートの回答③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦広報紙や市政への意見などを記入し、7月27日(月)消印有効までに広報広聴課へ。

※応募は1人1通。当選者は全問正解者の中から抽選のうえ決定。発表は発送をもって代えさせていただきます。

※お寄せいただいた感想、ご意見は、匿名で広報紙に掲載することがあります。アンケートやご意見の内容は抽選に影響しません。

【6月号の答え】

- ①レジ袋 ②命 ③70



7月号プレゼント

フクヤ「やさしいお惣菜 全6品」を5名様に



「やさしいお惣菜」は、100g当たり塩分を1g未満に抑えながら、真空調理で味をしっかりと浸透させ、素材本来の旨味も生かしたお惣菜です。市外を含むフクヤ全店で販売中です。

提供：株式会社フクヤ 営業本部
(宇森5400、☎63・6101)

人権の輪

新型コロナウイルス感染症 恐怖にのみまれないために

手洗いなどを徹底すれば、ウイルスに感染する確率はぐんと下がる。一方、心の中にひそんでいて流れていかないうちがある。

それは「恐怖」。暗いニュースや間違った情報は、恐怖を大きく成長させ、人から人へと広まっていく。

「ウイルスが広まったのはあいつのせいだ」「自粛しないといけないのに、なぜ営業しているんだ」「他府県ナンバーの車がいるぞ」と、周りに攻撃をはじめ。そして、互いに傷つけ合い、人々を分断する。

「感染していたらどうしよう」「暴言や中傷的になってしまおう」。すると、もし熱が出て隠し、具合が悪くても元気なふりをするようになってしまおう。これではもう、誰が感染しているのかは誰にも分からない。

「ウイルスへの恐怖」は「非難や差別を受ける恐怖」となって広がり、社会生活をも飲み込んでしまう恐ろしいものになる。



▲この内容は、日本赤十字社が動画でも公開しています

- ◆私たちにできることは？
- ◆恐怖に餌を与えない：暗いニュースや不確かな情報をつのみにせず、冷静に考えよう
- ◆恐怖のささやきに耳を貸さない：誰にもまだ分からないことは、誰にもまだ分からないことではない
- ◆恐怖から距離を取る：冷静さを失うと、過剰な買いだめや相手を攻撃するなどの行動をとってしまう。冷静に客観的に自分の行動を振り返ろう
- ◆恐怖が嫌がることをする：恐怖の苦手なものは笑顔と日常。家族や友人と笑い合い、いつものように生活しよう。
- ◆恐怖は誰の心の中にも住んでいます。新しい生活様式などを守って、皆頑張っています。恐怖に振り回されずに励まし合い、正しく知り、正しく恐れて、今私たちにできることを、それぞれの場所、取り組んでいきましょう。そうすることが、私たちの社会生活を守ることにつながるのです。

※参考：日本赤十字社公式動画「ウイルスの次にやってくるもの」



市功労者表彰、全国大会出場者を紹介

市功労者表彰

市制記念日にあたる5月27日、市の発展に貢献された3人を市功労者として表彰。

- 田村優樹(54歳、行水東町)
- 舞鶴市議会議員8年以上在職
新谷喜久雄(77歳、小倉)
- 選挙管理委員会委員12年以上在職
福本清(73歳、余部上)
- 固定資産評価審査委員会委員12年以上在職

全国大会出場おめでとう

☆USA The PEAK 2020 Dance部門 Mini-Youth 編成(大会中止)
(8月22日、千葉県)
櫛ひなみ(倉梯小3年)

(以上敬称略)

広報通信

～6月号広報クイズのアンケート結果を紹介～

- ◆応募件数(6月17日時点)
55件(フォーム32件、はがき23件)
- ◆6月号の人気記事
◆1位…命を守る(15票)
◆2位…マイ健康通信(10票)
◆3位…まいづる元気人(7票)

新型コロナウイルス感染症と出水期を前にした災害対策に注目が集まりました。新型コロナウイルス対策や支援策は今後も紹介していきます。

◆マイバッグは使っていますか？

55人中48人が使用していました。このほか7月からは使うという人、ごみ袋用にレジ袋をもらうという意見が計3件。また、サイズの違う複数の袋を持ち歩いているという人や、外出自粛期間にマイバッグを自作したという意見もありました。

7月以降、さらにマイバッグやふるしきの利用率が上がるよう呼びかけていきます。

《広報広聴課》



夢中になる時間

自治会・ボランティア団体・学校・サークル団体などの活動を紹介

中地区老人クラブ「奥母クラブ」

奥母クラブは、今年で設立して51年になります。スポーツ大会、バス旅行、花見、おしゃべり会などを通して、親睦を深め、皆仲良く活動しています。健康のために平成25年からは「サロンdeすれっち」を実施。厚意で貸してくださっている町内の住宅を会場に、第2・4土曜日に体操をしています。体操のおかげで、年に1回実施している体力測定で効果が出た人もいて、それに勇気づけられ、参加者も増加しました。

体操の後は、古布で花や干支を作るサークル活動を行っています。この作品の一部は、作品展に出品したり、高齢者宅友愛訪問のプレゼントにしたりと、活動の励みとなっています。現在、元奥母在住者や他地域の人の参加もあります。私たちと一緒に楽しく体操やサークル活動してみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

▼詳しくは、奥母クラブの瀬野さん(☎62・7683)へ。



掲載団体を随時募集中 問 広報広聴課(☎66・1041)
自治会・ボランティア団体・学校・サークル団体などの活動を紹介(応募多数の場合優先)。下コードからアクセス可。

